

令和6年度 決算について

1 決算概要

令和6年度は、当院の第3期中期計画2年目の年であり、引き続き急性期診療体制の強化を推進しました。クリニカルパスの利用拡大や地域医療連携による早期退院の促進を通じて在院日数の短縮を図るとともに、「断らない医療」として救急患者の積極的な受け入れを進め、新規入院患者の確保に努めました。これらの取組みにより、新入院患者数、入院診療単価は、過去最高を記録した令和5年度実績をさらに上回る結果となりました。

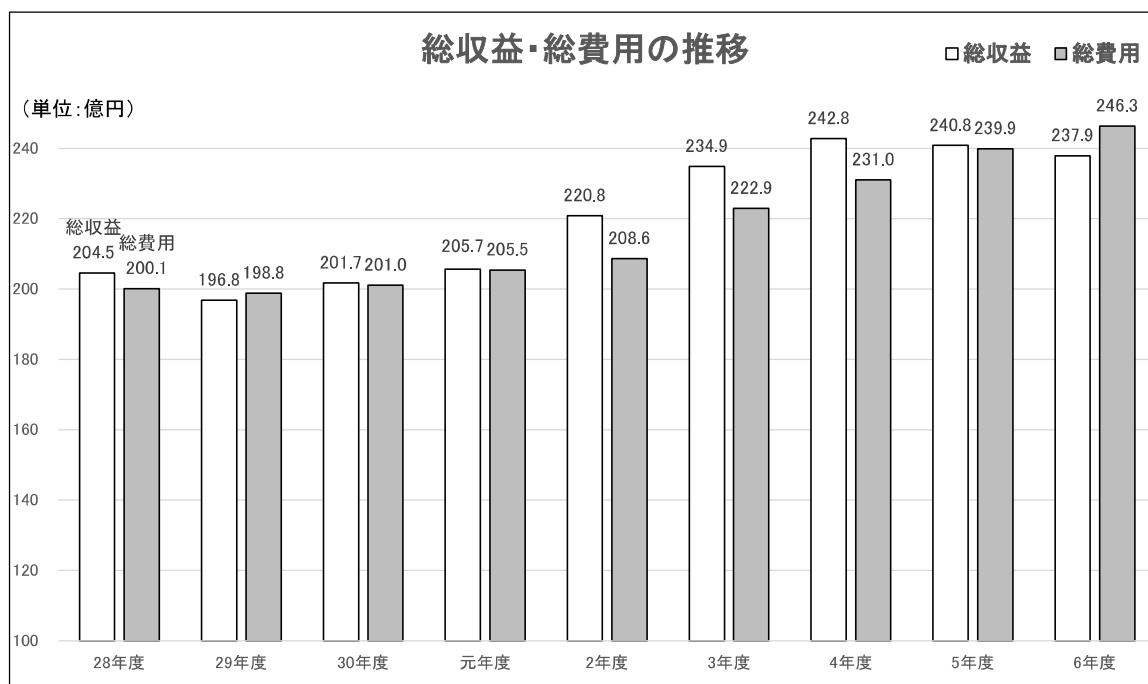
しかしながら、全国的な人件費の高騰に加え、診療材料費、光熱費の高騰に対して診療報酬は上がらず、医業費用の増加率が医業収益以上に増加したことにより、当院の経営に大きな影響を及ぼしました。

収益については、入院収益は診療単価の増により、148.3億円、前年度比4.1億円の増加となった一方、外来収益は効率的な医療提供を行うため、開業医への逆紹介を増やすなど延患者数を減らす努力をした結果、60.3億円、前年度比2.2億円の減少となりました。

また、新型コロナウイルス感染症関連の補助金の皆減により、補助金等収益は2.6億円、前年度比4.0億円の減少となりました。

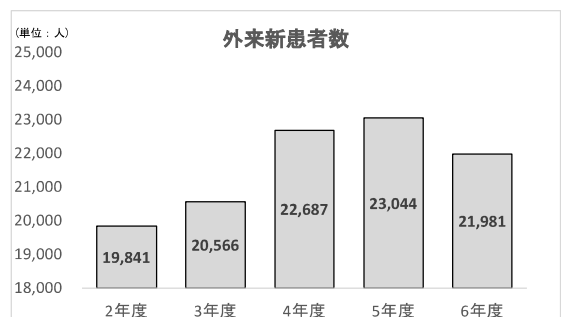
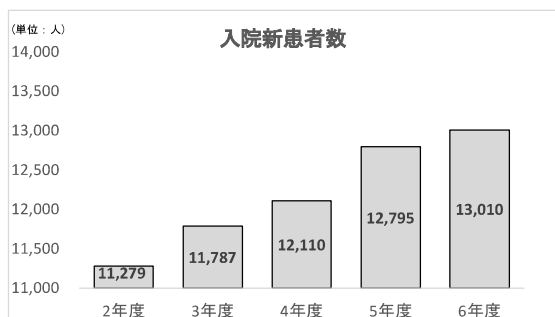
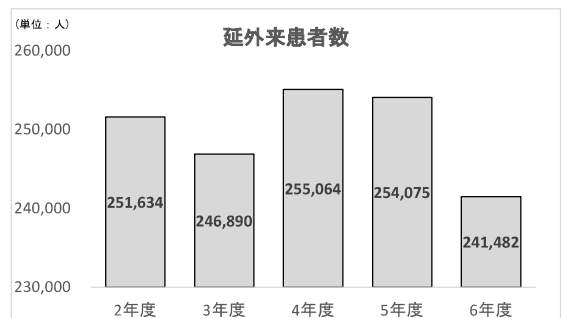
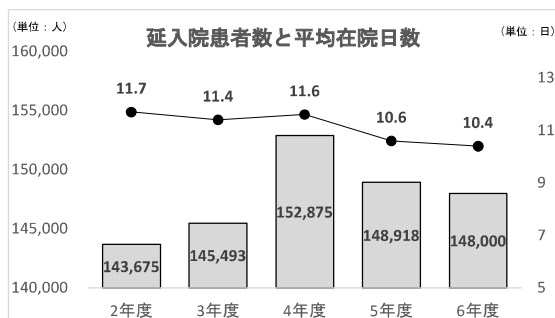
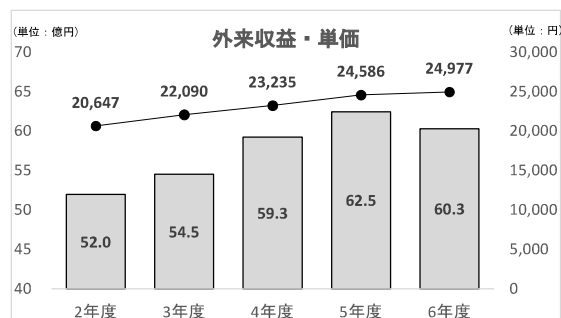
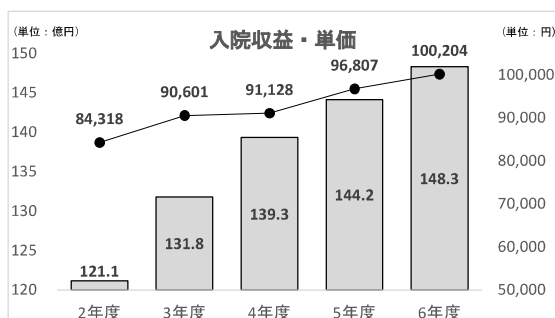
費用については、医業費用の給与費は職員の増員に加え、給与改定等の影響により、104.3億円、前年度比5.7億円の増加となった一方、材料費は薬品費の減に伴い、75.1億円、前年度比1.0億円の減少となりました。

これらの結果、令和6年度の総収益は237.9億円、総費用は246.3億円となり、当期純損失は8.4億円の赤字決算となりました。



2 主な診療実績

入院関連	令和6年度	令和5年度	増減値	増減率
診療単価	100,204円	96,807円	3,397円	3.5%
新患者数	13,010人	12,795人	215人	1.7%
平均在院日数	10.4日	10.6日	△ 0.2日	△ 1.9%
延患者数	148,000人	148,918人	△ 918人	△ 0.6%
1日平均患者数	405人	407人	△ 2人	△ 0.4%
病床稼働率	80.1%	80.4%	△ 0.3P	
外来関連	令和6年度	令和5年度	増減値	増減率
診療単価	24,977円	24,586円	391円	1.6%
新患者数	21,981人	23,044人	△ 1,063人	△ 4.6%
延患者数	241,482人	254,075人	△ 12,593人	△ 5.0%
1日平均患者数	994人	1,046人	△ 52人	△ 5.0%
稼働状況等	令和6年度	令和5年度	増減値	増減率
手術件数	6,072件	5,903件	169件	2.9%
紹介率	91.8%	90.8%	1.0P	
逆紹介率	166.1%	153.5%	12.6P	



3 財務諸表

(1) 損益計算書

一会計期間（4月1日から翌年3月31日までの1年間）に属するすべての収益と費用を記載した法人の経営成績を明らかにしたものです。

（単位:百万円）

項 目	令和6年度	令和5年度	増減額	主な増減理由
総収益	23,788	24,082	△ 295	
営業収益	23,608	23,915	△ 307	
医業収益	21,169	21,034	135	
入院収益	14,830	14,416	414	延患者数:△918人 (6年度:148,000人、5年度:148,918人) 単価+3,397円 (6年度:100,204円、5年度:96,807円)
外来収益	6,031	6,247	△ 216	延患者数:△12,593人 (6年度:241,482人、5年度:254,075人) 単価+391円 (6年度:24,977円、5年度:24,586円)
その他医業収益	360	401	△ 41	検診料+10百万円、治験収入△49百万円
保険等査定減	△ 53	△ 30	△ 23	
運営費負担金収益	2,082	2,119	△ 37	第3中期計画どおり
補助金等収益	259	656	△ 396	新型コロナウイルス関連△362百万円
寄附金収益	0	0	0	
資産見返戻入	97	106	△ 9	※負担金等財源取得資産の減価償却費見合い分収益計上
営業外収益	173	166	7	
運営費負担金収益	48	51	△ 3	第3期中期計画どおり
財務収益	7	1	6	預金金利の増加、地方債の利子収入の増加
その他営業外収益	118	114	4	※駐車場料金等
臨時利益	7	3	4	
その他臨時利益	7	3	4	貸倒引当金の戻入による増加
総費用	24,631	23,989	642	
営業費用	23,244	22,712	532	
医業費用	22,830	22,282	548	
給与費	10,427	9,854	573	職員数の増及び給与改定等に伴う給料等の増加
材料費	7,510	7,607	△ 97	薬品費△148百万円 (6年度:3,774百万円、5年度:3,922百万円) 診療材料費+74百万円 (6年度:3,698百万円、5年度:3,624百万円)
減価償却費	1,420	1,441	△ 21	減価償却の進捗に伴う減少
経費	3,393	3,301	92	光熱水費+50百万円、委託料+23百万円、修繕費+18百万円ほか
研究研修費	80	79	1	※学会、研修旅費
一般管理費	414	430	△ 16	
給与費	387	396	△ 9	職員数の減に伴う減少
減価償却費	3	4	△ 1	
経費	24	30	△ 6	
営業外費用	1,299	1,278	22	
財務費用	113	126	△ 13	※支払利息(移行前地方債・長期借入金)、リース利息
控除対象外消費税	1,170	1,150	20	
雑損失	17	2	15	示談金+10百万円
臨時損失	88	0	88	
その他臨時損失	88	0	88	労働基準監督署の勧告に伴う令和5年度時間外勤務手当
当期純利益(損失)	△ 843	93	△ 936	

(注) 表中の数値は各項目ごと百万円未満を四捨五入しているため、合計及び増減額が一致しない場合があります。

(2)貸借対照表

決算日（3月31日時点）におけるすべての資産（資金の運用形態）、負債及び純資産（資金の調達方法）を記載した法人の財政状況を明らかにしたものです。

（単位：百万円）

項 目	令和6年度	令和5年度	増減額	主な増減理由
資産の部	21,959	23,376	△ 1,417	
固定資産	12,109	11,836	272	
土地	3,001	3,001	0	
建物	4,714	4,732	△ 18	西館外来化学療法室などによる増加 +317百万円 減価償却の進捗による減少 △335百万円
構築物	9	9	△ 0	
器械備品	2,369	2,187	182	医療機器の取得、更新等による増加 +919百万円 減価償却の進捗による減少 △736百万円
車両	6	10	△ 4	減価償却の進捗による減少
リース資産	735	1,071	△ 336	電子カルテ等の減価償却の進捗による減少
建設仮勘定	3	24	△ 21	西館外来化学療法室改修工事の完了による減少
無形固定資産	18	25	△ 7	減価償却の進捗による減少
投資有価証券	1,000	500	500	地方債の購入による増加
長期貸付金	254	276	△ 22	看護師修学資金の返還の進捗による減少
破産更生債権等	43	58	△ 15	
貸倒引当金(破産更生債権等)	△ 43	△ 58	15	未収金額の減による減少
その他投資	0	0	0	
流動資産	9,851	11,540	△ 1,690	
現金及び預金	5,566	7,331	△ 1,765	※キャッシュ・フロー計算書参照
未収金	3,780	3,835	△ 55	補助金に係る未収金の減少
貸倒引当金	△ 28	△ 28	△ 0	
医薬品	348	248	99	
診療材料	163	132	31	
前払金	17	17	△ 1	
その他流動資産	5	4	1	※保険前払分、有価証券利息未収分
負債の部	13,852	14,426	△ 574	
固定負債	10,186	10,966	△ 780	
資産見返負債	298	394	△ 96	負担金等財源取得資産購入分の減少
長期借入金	600	600	0	
移行前地方債償還債務	3,875	4,169	△ 293	既往債の償還による減少
引当金	4,955	4,964	△ 9	
リース債務	458	838	△ 381	電子カルテ・ネットワーク機器償還による減少
その他固定負債	0	1	△ 1	
流動負債	3,666	3,460	207	
一年以内返済予定長期借入金	300	300	0	
一年以内返済予定移行前地方債償還債務	293	287	6	
未払金	1,873	1,738	135	退職金の支払いによる増加
未払費用	100	94	6	
引当金	544	510	33	給与改定に伴う賞与引当金の増加
一年以内支払予定リース債務	381	374	6	
その他流動負債	175	155	20	※預り諸税、預り納付金
純資産の部	8,107	8,951	△ 843	
資本金	4,919	4,919	0	※静岡市出資金
利益剰余金	3,188	4,031	△ 843	
前期中期目標期間繰越積立金	3,938	3,938	0	第2期中期目標期間からの繰越
目的積立金	93	0	93	令和5年度当期純利益振替による増加
当期末処分利益(損失)	△ 843	93	△ 937	
うち当期純利益(損失)	△ 843	93	△ 937	

（注）表中の数値は各項目ごと百万円未満を四捨五入しているため、合計及び増減額が一致しない場合があります。

(3) キャッシュ・フロー計算書

一会計期間（４月１日から翌年３月31日までの１年間）における業務活動、投資活動及び財務活動の区分に分けて資金の流れを明らかにしたもので、現金と普通預金の動きを示しています。

(単位: 百万円)

項 目	令和6年度	令和5年度	増減額	主な増減理由
業務活動によるキャッシュ・フロー	850	2,088	△ 1,238	
材料の購入による支出	△ 8,319	△ 8,418	99	薬品・診療材料支払額の減少による
人件費支出	△ 10,701	△ 10,181	△ 520	給与等支払額の増加による
その他の業務活動による支出	△ 3,800	△ 3,645	△ 155	経費等支払額の増加による
医業収入	21,217	20,924	293	入院・外来収益の増加による
運営費負担金収入	2,130	2,170	△ 40	中期計画どおり
補助金等収入	294	1,250	△ 956	新型コロナウイルス感染症関連補助金の減少による
寄附金収入	0	0	0	
その他の業務活動による収入	136	113	23	
利息及び配当金の受取額	6	0	6	
利息の支払額	△ 114	△ 126	13	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,954	△ 1,538	△ 416	
定期預金の戻入による収入	0	100	△ 100	
定期預金の預入による支出	0	△ 100	100	
投資その他の資産の取得による支出	△ 500	△ 500	0	資金運用による
有形固定資産の取得による支出	△ 1,427	△ 1,153	△ 274	固定資産購入額の増加による
無形固定資産の取得による支出	△ 2	△ 10	8	ソフトウェアの減少による
貸付金の回収による収入	31	30	1	看護師修学資金返済分
貸付けによる支出	△ 73	△ 72	△ 1	看護師修学資金貸付分
預かり保証金受入れによる収入	18	3	15	
預かり保証金払出しによる支出	△ 4	△ 1	△ 3	
補助金等収入	3	166	△ 163	医療機器購入に係る補助金の減少による
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 661	△ 648	△ 12	
長期借入れによる収入	300	300	0	
長期借入金の返済による支出	△ 300	△ 300	0	
移行前地方債償還債務の償還による支出	△ 287	△ 281	△ 6	
リース債務の返済による支出	△ 374	△ 367	△ 6	
資金増加額	△ 1,765	△ 99	△ 1,666	
資金期首残高	7,331	7,430	△ 99	
資金期末残高	5,566	7,331	△ 1,765	

(注1) 表中の数値は各項目ごと百万円未満を四捨五入しているため、合計及び増減額が一致しない場合があります。

4 長期借入金及び移行前地方債償還債務の状況

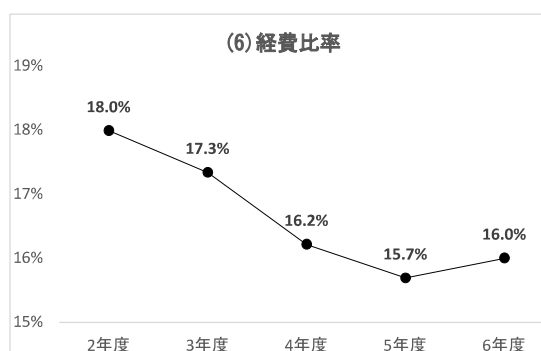
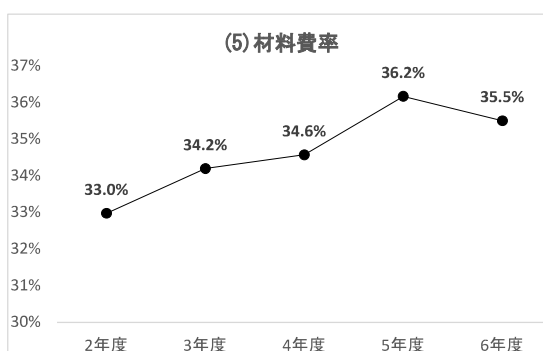
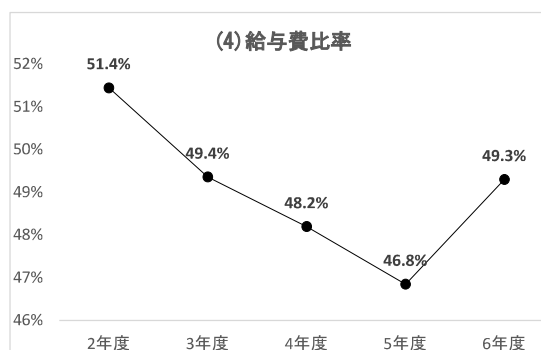
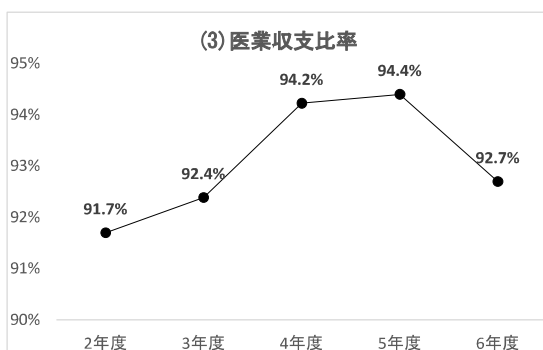
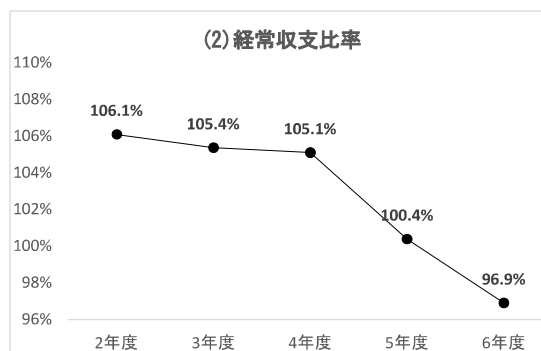
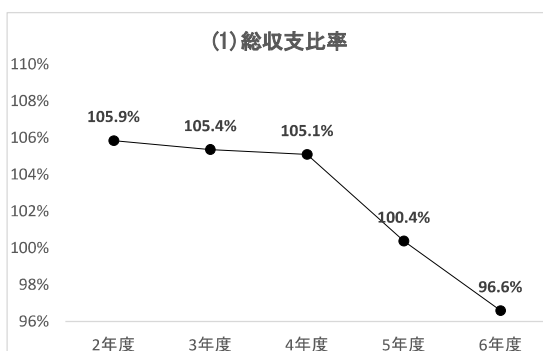
長期借入金（市からの借入金）及び移行前地方債償還債務（地方独立行政法人移行前に借り入れた地方債の償還債務）の状況は次のとおりです。

(単位: 百万円)

区 分	期首残高 (R6.4.1)	増減額			期末残高 (R7.3.31)	備 考
		新規借入額 (A)	償還額 (B)	計 (A)-(B)		
長期借入金	900	300	300	0	900	医療機器整備
移行前地方債償還債務	4,456	0	287	△ 287	4,169	建設改良資金
計	5,356	300	587	△ 287	5,069	

5 経営指標

区分	令和6年度	令和5年度	増減
(1)総収支比率	96.6%	100.4%	△ 3.8P
(2)経常収支比率	96.9%	100.4%	△ 3.5P
(3)医業収支比率	92.7%	94.4%	△ 1.7P
(4)給与費比率	49.3%	46.8%	2.5P
(5)材料費比率	35.5%	36.2%	△ 0.7P
(6)経費比率	16.0%	15.7%	0.3P



【経営指標の計算式】

- (1) 総収支比率.....総収益/総費用
- (2) 経常収支比率.....(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)
- (3) 医業収支比率.....医業収益/医業費用
- (4) 給与費比率.....給与費(医業費用)/医業収益
- (5) 材料費比率.....材料費(医業費用)/医業収益
- (6) 経費比率.....経費(医業費用)/医業収益